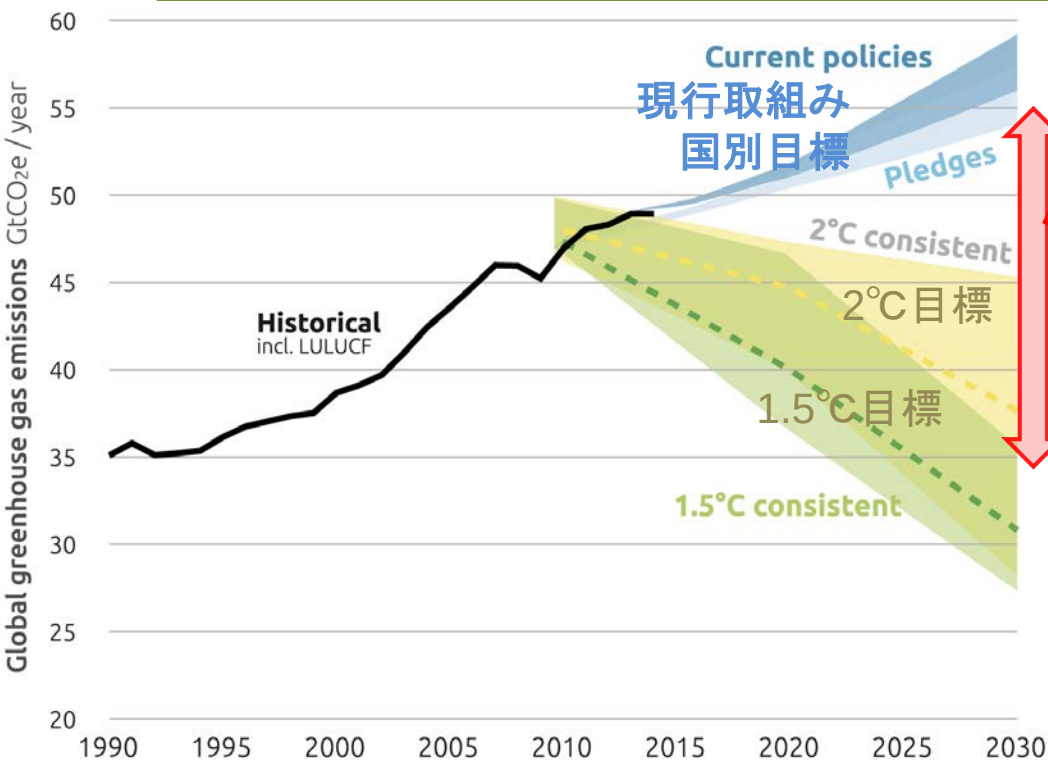


タラノア対話への招待

気候変動とエネルギー領域
田村堅太郎

ISAP2018 Thematic Track-2 ／テーマ別会合2
2018年7月18日(水) 16:00-17:30 @ パシフィコ横浜

なぜタラノア対話なのか？



出典：Climate Action Tracker

2°C/1.5°C目標との排出ギャップ Emissions Gap

- 全体の取り組みのチェック
Taking stock of collective efforts
- 今世紀後半の実質排出ゼロを目指し、すべてのアクターの行動を強化する必要
Enhanced actions by all actors are required.
- ただし、多くのアクターにとっては「未知の世界」
- 先行事例・経験を共有することが重要
Importance of sharing experiences and ideas

- ストーリー（経験、アイディア）を共有する場としての「包摂的、参加型、透明な対話プロセス」

= タラノア対話

Talanoa Dialogue as a process for sharing stories

- アクターがストーリー（経験やアイディア）を共有し、共感を育むことで、それぞれの取り組みを強化していくことを目指す。
- 3つの論点について議論
 - ① 今我々はどこにいるのか（Where are we）？
 - ② どこへ行きたいか（Where do we want to go）？
 - ③ どのように行くのか（How do we get there）？

2018年1月 開始

SBへの
情報提供

4月30日～5月10日

補助機関会合
(SB)

COP24への
情報提供

～10月29日

12月3日～14日（ポーランド）

COP24

IPCC
1.5℃特別報告書

準備フェーズ (Preparatory Phase)

- ・ 地方、国、地域レベルでの対話の実施
 - ・ あらゆる主体から、温室効果ガスの排出削減取組に関する情報を提供
- Inputs from all kinds of actors

SBでのイベント

5月2日 タラノア対話SBセッション開会
6日 少人数グループによる対話
(Sunday Talanoa)
9日 閉会

COP24への
報告書を作成

政治フェーズ Political Phase (閣僚級セッション)

提供された情報に関する
声明、基調講演、円卓会議

報告

COP23・24議長
によるサマリー

ストーリーのインプット況 Current Status of Inputs

締約国 Parties

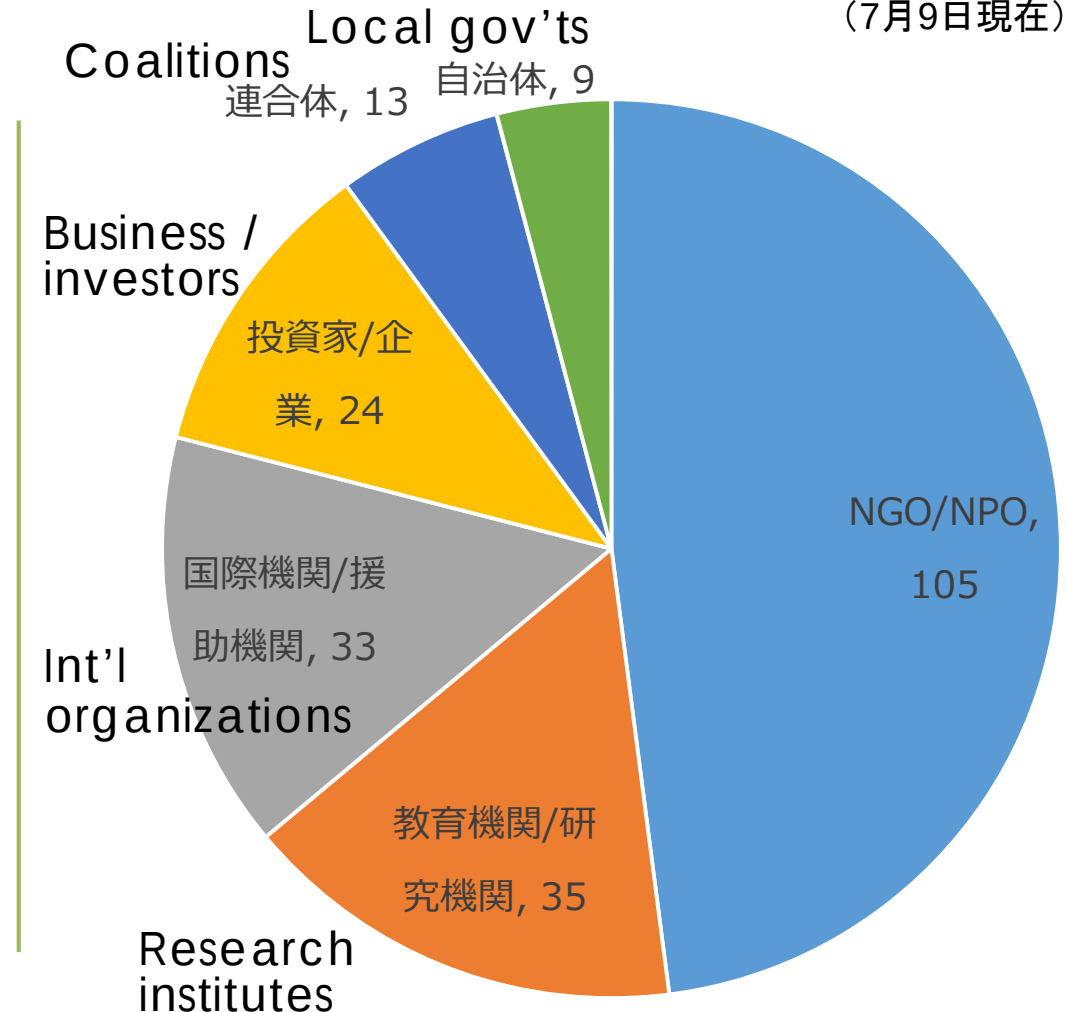
(4月2日現在)

- 15のストーリー
(7カ国・8グループ
(42カ国)、総計
49カ国が参加)

15 Stories
from 7 Parties
and 8 Groups (42
Parties)

非締約国 Non-Parties 219件

(7月9日現在) ※



※分類・集計はIGESによる

SB48にあわせて行われたタラノア対話の結果

①サンデイ・タラノア（5月6日）

Results of Sunday Talanoa (6 May)

- のべ250名以上の参加者が7つのグループに別れ、三つの論点に関して700以上のストーリー（経験やアイディア）を共有。
More than 250 participants and 700 stories
- タラノアの精神を尊重し、前向きな雰囲気の中で対話を実施
Constructive and forward-looking discussion

- ✓ 三つの論点ごとに参加者からのストーリーの共有・意見交換、およびファシリテーターまたは報告担当者による簡単なまとめの発表、という形で構成
- ✓ 各グループの参加者リストや録画は下記リンクより閲覧可能

<https://talanoadialogue.com/sunday-talanoas>



Photo by IISD/ENB | Kiara Worth

SB48にあわせて行われたタラノア対話の結果

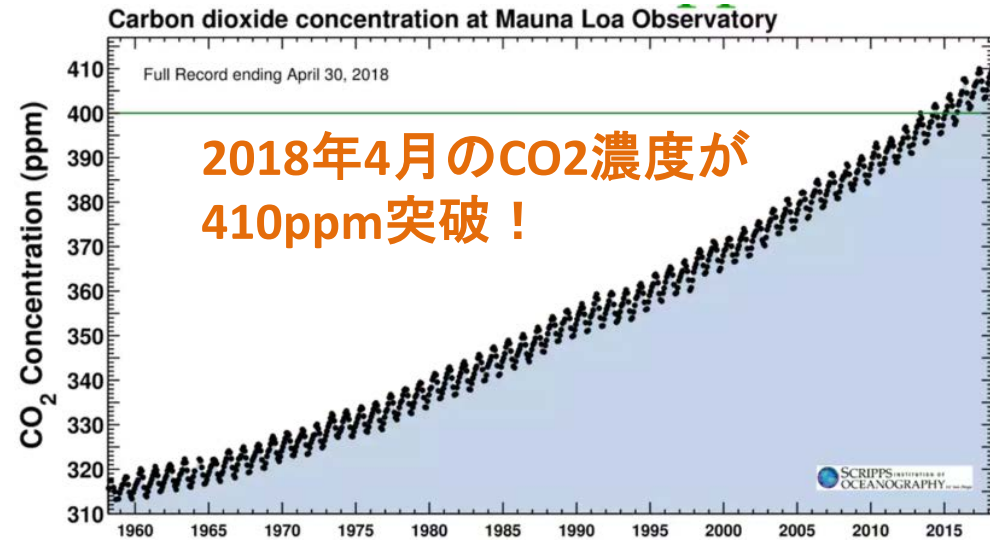
② サンデイ・タラノア: 主なストーリー

今我々はどこにいるのか (Where are we) ?

① 問題の緊迫性、取り組みの緊急性を訴える

Urgency for action

- ✓ 温室効果ガスの大気中濃度
- ✓ 生活基盤、社会基盤を脅かすような気候変動の悪影響の顕在化



出典: Scripps Institution of Oceanography

② 具体例をもって語り合うことで、建設的な雰囲気を作りだす

Creating constructive environ't by sharing concrete examples

- ✓ 国や自治体、企業等による取り組み、開発政策と気候変動政策の位置づけ、省庁間の協力体制の構築、長期戦略の策定、伝統的知識利用など

③ 途上国支援の重要性については引き続き指摘

Importance of support

- ✓ 適応策を含め、途上国への更なる支援が必要である点
- ✓ 衡平性や共通だが差異ある責任 (CBDR) 原則の重要性

SB48にあわせて行われたタラノア対話の結果

③ サンディ・タラノア: 主なストーリー

どこへ行きたいか（Where do we want to go）？

- ✓ パリ協定の長期温度目標（2℃目標や1.5℃目標）や、それに即した脱炭素化、気候変動に対する強靱性・適応能力の強化を目指すべき
- ✓ 持続可能な開発や経済発展、人間開発、生態系など、幅広い側面を含んだ包括的・網羅的なビジョンの重要性
- ✓ 地域的取組みやジェンダー・若者の参画についても扱うことの必要性
- ✓ 各国、都市・自治体、企業が掲げる中・長期的な排出削減目標、およびそれらに向けた戦略や計画の重要性



→ 国家戦略、経営戦略、地域社会の活性化に向けた取組みの中で大幅な排出削減を目指す姿勢の重要性を多くの参加者が指摘した。

Importance of placing substantial emissions reduction in the context of national development strategies

SB48にあわせて行われたタラノア対話の結果

④ サンデイ・タラノア：主なストーリー

どのように行くのか（How do we get there）？

- ✓ すべてのアクターが共に行動することにコミットすることが不可欠。そうした行動を引き出すための政治的リーダーシップの重要性。
- ✓ 技術革新やそれを生み出すための国際協力の重要性、民間資金の動員を促す公的資金の活用など

→ 野心的な政策が不可欠であり、その策定・実施にあたっては社会的正義、包括性、参加が重要な要素

Ambitious policies are essential, and their implementation requires social justice, inclusiveness and participation.

- ✓ 脱炭素化に向けた転換は、社会の仕組みや経済構造を大きく変えていくことが必要。

→ そのような転換を「誰も取り残されない」形で成し遂げていこうという考え方も共有された。

No one should be left behind in transition.



Image source:
<http://coachestrainingblog.com/becomeacoach/coaching-strategy/>

日本版タラノア対話プラットフォーム

～未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル タラノアJAPAN～

タラノア ● JAPAN

未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル

<http://copjapan.env.go.jp/talanoa/>

気候変動対策に取り組む企業、自治体、NGO等の取組事例を国内外に共有するためのポータルサイト。

Talanoa Japan = Portal site for sharing various “stories” of all kinds of stakeholders from Japan

- ①タラノア対話の3つの論点に沿った「優良事例」、「将来のビジョン」、「脱炭素化に向けて大きく貢献すると信じている取組・政策・アイデア」、「タラノア対話として位置づけ可能なイベント情報」などを募集（日英可、フォーマットあり）
- ②提供いただいた取組事例をポータルサイトに掲載し、国内外に発信
- ③取組事例の一部は政府でとりまとめ、気候変動枠組条約のタラノア対話公式プラットフォームに日本の取組として情報提供

皆さまのストーリーの発信のため、
タラノア対話ポータルをぜひご活用ください。